

令和 8 年第 6 回久米島町議会定例会一般質問

令和8年6月15日～6月17日

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質 問 者	質 問 事 項	質 問 日 程
1	田端努	1. 久米島斎場の運用と利活用について	令和8年6月15日(月)
		2. 観光振興について	
2	盛本實	1. 人口減少対策について	
3	保久村登	1. 久米島オーシャンジェット株式会社に対する「赤字補填を求めない」文書提出要求について	
		2. 久米島町と久米島町老人クラブ連合会の関係について	
4	赤嶺 秀徳	1. 比屋定小学校の休校について	
		2. 人口減少について	
		3. 町管理の構造物について	
		4. 漁港整備について	
5	喜久里 強	1. 道路行政及び標識等の整備について	
		2. 上田森戦没者刻銘碑について	

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	幸地猛	1. 海洋深層水利活用の推進について	令和8年6月16日(火)
		2. 高速船就航について	
		3. 今年の夏場の飲料水確保対策について	
		4. 認定こども園について	
2	真栄平建正	1. 総合計画における小中学校の統廃合について	
		2. 堆肥センターについて	
		3. 久米島町先導的官民連携事業(バーデハウス・パークゴルフ場)プロポーザルについて	
3	宇江原総清	1. 鳥島射爆撃場と政治	
		2. 自然再生とコンクリート護岸の撤去について	
		3. 本町の人口減少と経済衰退対策は	
4	喜久里猛	1. 所信表明から	
5	新垣幸子	1. 公共工事の発注について	
		2. 島のウガンジュ(御願所)やウタキ(御嶽)の草刈りと清掃について	
		3. 32地区の「しまくとぅば辞典」の発刊について	

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質 問 者	質 問 事 項	質 問 日 程
1	富永肇	1. 所信表明について	令和8年6月17日(水)
		2. 地域行政懇談会について	
2	棚原 哲也	1. 保安・防犯目的の監視カメラの設置について	
		2. 町営バスの路線について	

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
13	田端努	1. 久米島斎場の運用と活用について	久米島斎場の運用については、これまで行政として火葬やセレモニーの一日当たりの回数や、その時間帯について検討がなされ確立されているところだが、今後も町民のニーズに応じていくために、以下の点について伺います。 (1) 斎場の供用開始時から使用している火葬用電動式運搬機に不具合が発生した場合、どのように対応するのか伺う。また、運搬機の対応年数はどうなっているのか伺う。	町長	(1) 久米島斎場では、棺・収骨台の運搬車について、電動式運搬車を1台、手動式運搬車を1台保有しており、通常は電動式運搬車を使用しております。電動式運搬車が故障などの不具合があった場合には、手動式運搬車を代用して使用することになります。 また、運搬車の耐用年数については、メーカーでも基準を設けておりませんが、点検時における劣化箇所や部品交換などに細心の注意を払いながら、故障に繋がることのないように対応してまいります。	環境保全課
			(2) 町民から要望のあるペットの火葬について対応出来ないか伺う。	町長	(2) 本町にはペット専用の火葬施設がなく現在、飼い主から相談があった場合には一般廃棄物として受入対応を行っております。ペットは家族の一員でもあり、このような対応に抵抗を感じられる町民もおりますので民間のペット専用葬祭施設の紹介も併せて行ってまいります。	環境保全課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(3) 前回の一般質問で、斎場の建物・敷地を災害時の避難所として活用し、防災倉庫の新設も出来ないか質問させてもらったが、進捗状況について伺う。	町長	(3) 久米島斎場の施設を避難所として活用することにつきましては、一時的な避難場所として指定できるよう関係部署と調整しております。また防災倉庫の設置につきましても現在防災倉庫整備に向け種類等情報収集を行っており、併せて財源確保に努め事業進捗できるよう関係部署と連携してまいります。	環境保全課 総務課
		2. 観光振興について	観光振興について、町長の所信表明では、観光資源である自然・歴史・文化を活かした長期滞在型観光の実現のほか取り組んでいくと述べているが、以前より本町に観光に来られた方から、「雨天時には観光が出来る場所が少なく、仕方なく滞在先で過ごした経験をした。雨天時でも学んだり、遊んだり出来る体験型の施設がもっとあればいいのでは」との声がある。今後リピーターとして本町を訪れて頂く方を増やすことも大事だと考えます。観光客の皆さんだけではなく、町民も一緒に楽しめる施設を創設出来ないか、以下の点について伺います。	町長		

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(1) 旧久米島中学校の体育館等、既存の施設の活用について計画はあるか伺う。	町長	(1) 現在、旧久米島中学校体育館及びパークゴルフ場については、事業パートナーと基本協定を締結しております。今年度基本構想を策定し、既存施設の有効活用を図って参ります。	商工観光課
			(2) 水産資源等を活かした展示や、直接触れられるコーナーや釣り堀など、体験型の遊べる施設の創設は出来ないか伺う。	町長	(2) 水産資源等に関するアクティビティは民間事業者によりイノー散策等を実施しております。また、水産資源を活用したアミューズメント施設は民間事業者により設置すべき施設と考えます。	商工観光課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
8	盛本 實	1. 人口減少対策について	去る4月19日に執行されました町長選挙においては、両候補とも人口減少対策を最大の争点として掲げておりました。 町長は町民の信任を得て二期目の町政運営を担うこととなりましたが、本町における人口減少は、地域経済、教育、医療、福祉、地域コミュニティの維持など、あらゆる分野に大きな影響を及ぼす重要課題であります。 そこで伺います。 選挙においても最大の争点となった人口減少対策について、町長は今後4年間でどのような成果目標を掲げ、その目標達成に向けて、どのような施策を重点的に取り組んでいく考えなのか、お聞かせください。	町長	人口減少の要因としまして、「結婚」「子育て」「教育」「医療・福祉」「仕事」等、様々な局面や事情等があると認識しており、それぞれの局面に沿った施策が求められると考えております。 中でも産業の振興は、所得の増加による町民幸福度の向上や雇用の創出等、地域への定住やU・Iターンの誘発に繋がる重要な施策だと位置づけております。 「第3次久米島町総合計画」では、産業を基軸とした将来人口フレームを掲げており、その目標として産業毎の「就業者数」「総生産額」を設定しております。 産業の振興を重点施策と位置づけ、人口減少に効果が発現できるよう取り組んでまいります。	企画財政課
7	保久村 登	1. 久米島オーシャンジェット株式会社に対する「赤字補填を求めない」文書提出要求について	令和6年5月2日の意見交換会において、町長が同社に対し、経営赤字が生じても町には一切の補填を求めない旨の文書提出を求めた事実及び、5月7日の文書受領について、以下の通り質す。	町長		

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(1) 事実関係の確認 ①5月2日の意見交換会において、町長がオーシャンジェット社に対し、具体的な赤字補填の放棄を求める文書の提出を求めたのは事実か。 ②約30名（国土交通省、沖縄県、他町村含む）が出席する公的な場で、このような要求を行った真意は何か。	町長	(1) ①誓約書に関しては、当初より高速船事業者から赤字補填の補助金等はいらないという説明を受けておりました。当該意見交換会の際にその事業者の意思を再確認するために、文書にて意向を確認したい旨お伝えいたしました。 ②高速船事業者が赤字補填の補助金等はいらないという意向に齟齬が生じてしまわないよう、公的機関も参加した意見交換会の場において、文書の依頼を行っております。	商工観光課
			(2) 法的な問題点と職権濫用 同社が運行する「つむぎ」は、住民の足となる公共交通機関である。町長が、経営破綻につながりかねない一方的な文書を強要することは、公務員職権濫用罪、あるいは強要罪の構成要件に該当する恐れはないか。法律上の義務なきことを要求したのではないか。	町長	(2) 高速船事業者より、当初から赤字補填の補助を前提としないとの説明を受けておりました。本文書については高速船事業の意向、採算性を確認するための確認文書と捉えております。本文書が高速船事業者に対し将来的、未来永劫、補助を行わないことを拘束できる可能性は低いと考えられることから、法的な問題はないと考えます。	商工観光課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(3) 政策遂行および公共責任上の問題 ①「赤字補填は一切求めない」という文書を提出させることは、要するに「久米島町は、赤字補填は一切しない」ということであり、公共交通の公的責任の放棄とも言えるのではないか。	町長	(3) ①行政における公共交通の公的責任は、地域に必要な公共交通を確保することであり、事業者の赤字を補填する必要があるかどうかは、経営の状況や運航計画、将来を見通した事業計画など総合的な判断によるものと考えます。	商工観光課
			②将来的に運行会社が赤字に転じた際、撤退またはサービス低下を招いた場合、誰が責任を取るのか。		②基本的には赤字を生じた当事者である、運航会社の責任になるものと考えます。	商工観光課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			③この要求が、町が掲げる海洋深層水関連企業誘致など、他事業の企業誘致にも「冷たい町」という印象を与え、マイナスの影響を及ぼす懸念はないか。		③令和〇〇年に町としてジェットフォイルの運航について試算を行い、収支的に非常に厳しいという結果となったうえで、民間事業者より補助金等を必要とせずに高速船事業を行う旨の説明があり、誓約書に關しましては事業者の意向と受け止めております。 高速船事業者が赤字に陥らないよう関係機関連携して交流人口の増加を図っていくとともに、企業誘致に関しては本町の財政収支の見通しは的確と受け止めて頂けると考えられ、補助金等をいらないという事業者の意向を文書にて頂いたことがマイナスの影響を及ぼすという懸念はございません。	商工観光課
			(4) 町長の認識と今後の方針 当該文書を撤回、または見直す考えはあるか。	町長	(4) 当該文書は事業者側の意向であり、その意思を事業者が文書にしたものと認識しておりますので、町側で撤回や見直しというのは文書の内容にそぐわないと考えます。	商工観光課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 久米島町と久米島町老人クラブ連合会の関係について	(1) 久米島町（福祉課）から、久米島町老人クラブ連合会（久老連）に対して、外部監事を設置するよう指示、指導又は要請したことがあるか。	町長	(1) 久米島町老人クラブ連合会に対する外部監事の設置に関する「指示」や「指導」「要請」は行っておりません。町としましては組織の自主的な運営を尊重しつつ、外部監事の設置をご検討いただくよう、「お願い」の形でお伝えしている現状です。	福祉課
			(2) あるとすれば、その趣旨、目的、法的根拠を明らかにされたい。	町長	(2) (1)の答弁のとおり「指示」「指導」「要請」は行っておりませんが、趣旨および目的は、補助金の交付団体としての会計の透明性向上および組織運営の円滑化を図ることにあります。また、法的根拠につきましては、久米島町老人クラブ連合会に対する直接的な強制力はございませんが、補助金の適正な執行を管理する行政上の責務に基づき、社会通念上、適切な対応であると認識しております。	福祉課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(3) 南部老人クラブ連合会(南老連)加盟の市町村クラブ連合会で、外部監事を設置している連合会があるか。あるとすれば、その報酬の額と、原資確保方法はどうなっているか(久米島町は南老連に対して負担金を拠出しているから、照会確認ができるはずである。))。	町長	(3) 南部地区老人クラブ連合会に対し照会を行ったところ、現在、南部管内の市町村クラブ連合会において、外部監事を設置している連合会はございませんでした。なお、市町村クラブ連合会における監事への報酬の状況につきましては、多くの団体において年額5,000円の手当が支給されており、その原資につきましては、各連合会の運営予算から支出されているとの回答でございました。	福祉課
			(4) 久米島町が南老連に拠出している負担金の金額、拠出するに至った経緯、目的について説明されたい。	町長	(4) 本町から南部地区老人クラブ連合会へ負担金を拠出するに至った経緯につきましては、久米島町老人クラブ連合会の広域的な連携強化および福祉活動の推進を目的として拠出しております。経緯としましては、南部地区老人クラブ連合会の設立趣旨に賛同し、会員が広域的な交流事業や研修会に参加する機会を確保すると認識しております。負担金の額は円となります。	福祉課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(5) 久米島町は、久老連の事務局事務の支援についてどう考えているか。久老連発足以来、久米島町はどのように対応してきたか。対応に変化があれば、その理由は何か。	町長	(5) 久米島町老人クラブ連合会の事務局事務につきましては、社協と連携し必要に応じて助言や支援を行ってまいりました。対応の変化につきましては、昨今の社会情勢、組織体制、行政における事務負担の適正化といった観点から、可能な範囲での協力体制を継続しております。今後も、久米島町老人クラブ連合会が円滑に活動できるよう、適切な支援のあり方を検討してまいります。	福祉課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
12	赤嶺 秀徳	1. 比屋定小学校の休校について	令和8年の新年度から比屋定小学校が休校となった事は承知している。しかし、それが地域に様々な問題を惹起している。3点伺う。 (1) 小学校は休校となっているが休校で良いのか伺う	教育長	(1) 比屋定小学校は、令和8年度に全児童数9名で、飛び複式学級(3年生、5年生)1クラスという状況になるということで、子どもの数が極端に減少した環境では、集団学習や多様な対人関係の構築、行事の実施が難しくなるなどの課題がありますので、児童の教育環境の観点から休校措置としたところであります。	教育課
			(2) 登下校時のスクールバスの運行状況について伺う	教育長	(2) 登下校時のスクールバスの運行状況については、現行の幼稚園児送迎バスの運行方法を参考に、民間事業者に送迎運行業務を委託し、実施しているところです。	教育課
			(3) 休校している校舎の電気工事が計画されているとの情報がある。計画は事実かその必要性について伺う	教育長	(3) 令和9年末に蛍光灯の製造が終了となることから、学校の各施設でLED化への更新を行っているところであります。比屋定小学校は休校中ではありますが、施設の維持管理の面からLED化への更新を行うこととしております。	教育課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 人口減少について	町長は、今回の選挙で勝利し二期目となるが選挙公約の中で本町の人口減少の問題を課題として町民に訴えている。3点伺う (1) 人口減少を食い止める為、一期目4年間に講じた対策について伺う。	町長	一期目4年間での施策につきましては、「生まれる」「育つ」「学ぶ」「働く」等、8つのライフステージ毎に施策を展開し、取り組んでまいりました。 事業としましては、「出産助成金交付事業」「出産祝品贈呈事業」「子育て援助活動支援事業」「高校魅力化推進事業」「特別支援教育支援員配置事業」「児童・生徒各種大会派遣支援事業」「久米島特産品販路開拓事業」「久米島観光誘客支援事業」「離島交通課題対策事業」「畜産振興事業」「離島漁業再生支援交付金事業」「移住定住促進事業」「空き家利活用促進事業」等となっております。	企画財政課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(2) 人口減少を食い止める為に二期目の具体的な施策について伺う。	町長	二期目の人口減少対策としましては、産業を基軸とした施策に取り組む考えです。 産業の振興や活性化により、町民所得の向上、雇用の創出を図り、定住や移住、島出身者のUターン環境の向上に繋げ、人口減少に歯止めがかけられるよう取り組んでまいります。 また、人口減少の要因として少子高齢化のほかに、「結婚」「子育て」「教育」「医療・福祉」「仕事」等、様々な局面や事情等があると認識しており、それらに対応する施策についても着実に取り組み、町民幸福度の向上、「住み続けたい町」「帰りたい島」の実現に取り組んでまいります。	企画財政課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(3) 人口が減少しても町の職員を減じない理由について伺う。	町長	本町においても人口減少や少子高齢化が進行しておりますが、一方で行政ニーズについては多様化しており、自治体が担う業務量は年々増加傾向にあることから職員を減らすことが難しい状況となっております。 業務量や行政課題、住民サービスへの影響などを総合的に勘案しながら、適正な定員管理に努めているところであります。 今後につきましても、業務の効率化やデジタル化の推進、事務事業の見直し等を進めながら、限られた人員で持続可能な行政運営が図れるよう取り組んでまいります。	総務課
		3. 町管理の構造物について	町管理に係る「バーデハウス」「風の帰る森」についての進捗状況を伺う。まずは、 (1) バーデハウスの現在の状況を伺う	町長	(1) 令和7年6月に事業パートナーと連携協定を締結しており、当施設の再生方針、概算コスト等を整理するための基礎調査を終えたところであります。	商工観光課
			(2) 再開する為に今後どのような対策を講じていくのか具体的に伺う	町長	(2) 今後は大前提である財源の確保、その後は基本設計、実施設計、建設工事と段階的に再開に向けて取り組んで参ります。	商工観光課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			次に風の帰る森の現在については、 (3) 風の帰る森の現在の状況を伺う	町長	(3) 当該施設につきましては、令和4年度末に公募による次期指定管理者選定において管理者が決まらず、その後、個別に事業者と対話を重ねてきましたが、支援的な参画に留まる提案が多く、従来の条件では施設の理念を共に担う主体的事業者の選定は困難という現実直面いたしました。そのため昨年度により町直営で臨時開館や持ち込み企画などを試行し、現場での糸口を探ってきたところです。現在時間を要しているのは寄付者の意向と自立運営の両立に向け、一度これまでの計画を整理し、一括の管理ではなく、民間が段階的に参画できるような柔軟な事業プランを検討している状況です。	プロジェクト推進課

令和 8 年第 6 回 6 月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(4) 再開する為に今後どのような対策を講じていくのか具体的に伺う	町長	(4) 今後は一括での指定管理ありきではなく、リスクを抑え段階的に民間の力を呼び込むスモールステップ型の展開を検討しております。具体的には、施設、敷地全体ではなくイベントや一部利用など機能を細分化して民間等へ委ね、まずは施設周辺に「人の動き」や「ニーズ」を創出し、その実証データを検討し、地域との関係性を再構築した上で、最終的に持続可能な指定管理など本格的な運営体制へつなげ再開を目指してまいります。	プロジェクト推進課
		4. 漁港整備について	町管理漁港整備について町長の見解を5点伺う (1) 儀間漁港港内の浚渫について伺う	町長	(1) 儀間漁港内の浚渫については、漁業活動に支障があれば調査を行い、その結果に基づき、浚渫時期や範囲について検討してまいります。	建設課
			(2) 儀間漁港内給油施設周辺非舗装部分の舗装について伺う	町長	(2) ご指摘の場所は給油施設用地となっており、給油施設が整備されたことで目的は達成されております。 給油施設用地の未舗装部分については、利用状況や維持管理状況を踏まえ、舗装の必要性について検討してまいります。	建設課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(3) 儀間漁港斜路の亀裂補修について伺う	町長	(3) 儀間漁港の斜路につきましては、亀裂などが確認されております。補修が必要であると認識しておりますので、補助事業を活用した整備に努めてまいります。	建設課
			(4) 儀間漁港構内設置の焼却炉の撤去について伺う	町長	(4) 焼却炉につきましては、廃棄物処理の手段として設置されておりますが、現在は使用されていない状況となっております。 漁港内の環境美化や安全性の確保の観点から撤去について検討してまいります。	建設課
			(5) 町管理漁港の廃船処理について伺う	町長	(5) 町管理漁港の放置艇につきましては、儀間漁港に4隻、鳥島漁港に27隻、具志川漁港に1隻の計32隻となっております。ほとんどが所有者不明や、所有者死亡となっております。基本的に船の処分は、所有者が行うものとなりますので、引き続き所有者および相続人の確認を行うとともに、漁協および県とも連携し廃船処理に取り組んでまいります。	産業振興課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
4	喜久里 強	1. 道路行政及び標識等の整備について	町内における道路標識や横断歩道表示について、老朽化や視認性低下が見受けられ、安全面への影響が懸念される。特に高齢者や観光客、夜間通行時の安全確保のため、標識等の適切な維持管理と視認性向上が必要である。 また、通学路や人通りの少ない箇所においては、横断歩道のカラー化や防犯カメラ設置など、安全・防犯対策の強化が求められていることから、町の現状認識と今後の整備方針について伺う。			

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(1) 道路標識等の整備について ①町内の道路標識等の点検状況について ②老朽化・破損した標識等の修繕計画について ③標識の反射材活用など視認性向上への取り組みについて伺う	町長	(1) 道路標識等の整備につきましては、公安委員会が所管する交通規制標識と道路管理者が所管する案内標識や道路附属物があり、それぞれ管理主体が異なっております。 ①点検状況については、道路パトロールや維持管理業務等に対応しております。 ②老朽化・破損した標識等については、県管理の標識については、県へ要望し町管理については、修繕や取り換え対応を行ってまいります。 ③標識の反射材や視認性向上の取り組みにつきましても県管理の標識については県へ要望し、町管理の標識については、取り換えのタイミングで導入できればと考えております。	総務課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(2) 横断歩道のカラー化及び防犯カメラ設置について ①危険箇所における横断歩道カラー化の現状と今後の整備計画について ②防犯カメラ設置に関する町の考えについて ③公共施設や通学路への優先的整備について伺う	町長	(2) 横断歩道につきましても公安委員会の所管となっております。 ①横断歩道カラー化についても視認性や安全性向上に有効だと考えますので、公安委員会や警察及び道路管理者へ要望してまいります。 ②、③防犯カメラ設置については、近年、全国的に子どもの安全確保や犯罪抑止、事故発生時の状況確認などを目的として導入が進められております。本町におきましては、現時点で公共施設等への防犯カメラ設置実績や具体的な整備計画はございませんが、近年の社会情勢や県内自治体の動向を踏まえ、今後、通学路や公園、観光施設等を含めた施設につきまして関係部署と連携し、まずは条件整備を進めてまいります。	総務課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 上田森戦没者刻銘碑について	大岳小学校前の上田森に建立されている戦没者刻銘碑について、建立から長年が経過し、接着面の破損や文字の剥離など老朽化が見られるため、適切な修復及び保存対応が必要と考える。 また、刻銘内容について、同一人物と思われる重複刻銘や、久米島で戦死されたにもかかわらず名前が記載されていないとの声が遺族関係者から寄せられており、事実確認及び適切な対応が求められる。 (1) 上田森戦没者刻銘版の修復・補修について、町としての対応予定を伺う。 (2) 同一人物と思われる重複刻銘について、事実確認及び整理・修正を行う考えはあるか伺う。 (3) 久米島で戦死されたにもかかわらず、刻銘版に名前が記載されていない方について、調査及び追加刻銘を検討する考えはあるか伺う。	町長	(1) ご指摘のありました刻銘版は、戦没者慰霊と平和学習を次世代へ継承する重要拠点として、歴史的意義のある施設であると認識しております。計画的な修復・補修に向け早急に検討してまいります。 (2) 重複刻銘につきましては、過去の資料及び刻銘名簿と照合・確認いたします。確認の結果、誤りや重複が判明した場合には対応を図る必要があると考えております。 (3) 追加刻銘につきましては、戦没者名簿等の関連資料を精査し、事実確認を行います。調査の進め方や追加刻銘の基準については、関係者の方々と連携し町としてどのような手続きが最適か、検討してまいります。	福祉課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
6	幸地猛	1. 海洋深層水利活用の推進について	海洋深層水の推進について今後の取り組みについて、伺います。			
			(1) 商船三井との包括協定を結んでいますが包括協定が年数については一年更新であるという。その理由について伺います。	町長	(1) 包括連携協定の年数につきましては、町の定める要綱に基づき定めております。	プロジェクト推進課
			(2) 温度差発電について、町が全体計画を策定後に技術的な課題があるという。取水システムの大規模化に向けて研究開発が必要だということで実証を続けていくことになるが 大規模化を実証化するには、ステップアップをしながら6年先を見据えて準備を進めているところであるという。その準備を行うのは商船三井なのか、町なのか、伺います。	町長	(2) 町の全体計画を基に、取水システムの大規模化に向けた研究開発の実証につきましては商船三井が主導します。町はその用地の確保や地元調整などを連携して行うことでこの取り組みを後押しいたします。	プロジェクト推進課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(3) 温度差発電が完成しないと全て成り立たないかと言うことではなくて、大規模化を目指しながら出来るところから取り組んでいくと言うことですが、どのような事業から取り組んでいくのか、伺います。	町長	(3) 沖縄県海洋深層水研究所の分水の稼働率が約5割程度であるということが、昨年、全国利用学会での発表後の質疑で明らかになりました。研究所への聞き取りや図面等を確認しておりますが、その要因は陸上配管に起因しているのではと推測しております。今後、配管状況を調査、改修し分水の稼働をあげることで、既存事業の規模拡大や新規事業者の進出を促したいと考えております。	プロジェクト推進課
			(4) 水利権について、全体計画の久米島モデルを展開していく中で、議論されていくと言うとですが、議論に参加するメンバーの決定時期はいつになるのか。	町長	(4) 全体計画においては「水利権」の議論について直接的な言及はありませんが、供給側の権利義務を明確にする「規約や約款」の策定が課題とされています。議論のメンバーには、運営を担う町等の公的組織に加え、利用企業、有識者、金融機関等を含む「中立的な審議機関が想定されています。決定時期については、大規模供給に向けた「配水事業体の体制確立」の過程で選定する方針です。	プロジェクト推進課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(5) 冷熱利用農業は町の冷熱ハウスを利用して実証を始める準備を進めているという。県の施設も未使用の状態である。県と協議して利用する考えはないか。	町長	(5) 町農業ハウスにつきましては、昨年度より民間事業者が環境配慮型6次産業化モデル事業として水耕栽培等の実証を実施しております。 又、県農業ハウスにつきましても、今年度より甘蔗およびパインアップルの種苗増殖場所として利用しております。	産業振興課
			(6) 去年包括支援協定を結んだときに、海洋深層水の展望として、担当課長は6年後ということでしたが、町長は、2030年までにいろいろ商品化して全国展開をしたいという思いがあるという。また、海洋深層水を活用した「久米島モデル」はこの1～2年で進み、実現すれば新たな事業が入ってくる。働く場所をつくれれば人口は増えると言う。「久米島モデル」がこの1～2年でどういった事業の進展が想定されているか伺う。 また、「人材をもって資源と成す」の理念で久米島高校と連携しながら特色を生かしたコース設置にも取り組みたいということですが、その具対的な取り組みについて、伺う。	町長	(6) ご承知のとおり、「久米島モデル」とは、海洋深層水を活用し、島で必要なエネルギー・水・食料を自ら生み出すとともに、新たな産業と雇用を創出する「自立した循環型のまちづくり」です。現在は、その中核となるエネルギー創出分野において、開発研究に一定の時間を要している状況です。一方、食料生産を中心とした産業振興分野では、これまでの実績を活かしながら、事業規模の拡大や新規事業者の参入促進に取り組んでいます。この1～2年では、新たに水産養殖事業者が参入に向けた準備を進めています。 また、久米島高校との連携による特色あるコースの設置については、本町の地域資源である海洋深層水の利活用を学ぶことができるコースの開設に向け、高校及び沖縄県教育委員会と意見交換を行っています。	プロジェクト推進課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
					具体的には、沖縄県の研究成果である「冷熱利用水耕栽培」や、ロート製薬が取り組む「微細藻類培養」などを次世代農業として位置づけ、その担い手となる人材の育成に久米島高校と連携して取り組んでまいります。	
		2. 高速船就航について	久米島オーシャンジェット株式会社と町の連携について 久米島オーシャンジェットは民間の投資によって、九州高速船から船を取得し、さまざまな困難やトラブルと向き合いながら修繕を進め就航に至っています。5月1日に那覇～久米島間を結ぶ高速船として就航した。2日に久米島町の兼城港内で水中翼が浅瀬に接触する事故が発生。9日に運航を再開したが、13日から再び運休となった。7月1日から予約を開始したという。高速船の就航により、久米島の観光客は現在の約9万人から、15万人まで伸びるとの見込んでいるという。 第3次総合計画の久米島町の観光入域客数の指標を15万人と掲げている。現実になるかも知れません。町としても久米島オーシャンジェット社と積極的に連携をして、観光受け入れ環境の整備を図る必要があると思うが、町の考えを伺う。	町長	高速船が就航したことにより、選択肢が増え、町民や来島者の利便性が向上すると認識しております。 今後は高速船事業者のみならず、航空会社や旅行業者を始めとする、関係機関と連携し、新しい旅行商品の開発等を行い、誘客効果の向上を図ってまいります。 また、高速船就航を視野に入れ更なる2次交通の強化、拡充に取り組むことで受け入れ体制の強化を図ってまいります。	商工観光課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. 今年の夏場の飲料水確保対策について	本島内の11ダムの現在の平均貯水率は50%であるという。過去10年間の平均値が77%を大きく下回るようであるという。			
			(1) 現在の儀間ダムの貯水率は何パーセントか。伺います。	町長	(1) 5月29日現在、貯水率は75.4パーセントです。	上下水道課
			(2) 今年の夏場の、儀間ダムの貯水率を心配している声が聞こえてきます。高速船就航により観光入客数が大幅に増えることが見込まれています。久米島を訪れる観光客が安心して滞在できる環境を整えるには、この夏場における飲料水確保が急務だと思います。その対策について伺う。	町長	(2) 近年は気候変動などによる少雨傾向が続いており、水道水の確保は重要な課題となっています。 儀間ダムの貯水率低下による渇水への対応ですが、関係機関と調整を行い儀間ダム以外の水源である山城池からの一時的な取水による対応と比嘉池からの取水により水の確保を行うという流れとなります。	上下水道課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		4. 認定こども園について	所信表明で認定こども園の実現により、就学前教育・保育の充実と義務教育への切れ目ない支援に取り組んでまいります、という。 具体的な取組について、伺います。	町長	「久米島町立学校等適正規模・適正配置に関する基本方針（案）」についての諮問に対する答申」においても、町立幼稚園について、幼児教育の充実と子育て支援の強化を図る観点から、「認定こども園」への移行を目指すと考えました。 答申にもありましたとおり、保育年数等について、保育園も含め、本町の実情や諸問題を十分に考慮する必要があります。本町の就学前教育・保育のあり方についての方針を取りまとめ、本町により適した認定こども園の実現に向けて取り組んでまいります。	こども未来課
5	真栄平建正	1. 総合計画における小中学校の統廃合について	本件は教育論ではなく、町の将来像を問う政策判断、総合計画に記載した責任は町長にありますので町長に伺います。			
			（1）学校統廃合によって地域の将来像を変える責任は、最終的に町長が負うという理解でよいか。	町長 教育長	（1）学校の設置や廃止を直接決定する権限は教育委員会にあります。統廃合が引き起こす地域社会の変革や将来像への責任は、自治体の首長が負うことになります。	企画財政課 教育課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(2) 学校がなくなる地域の衰退リスクを承知の上で、それでも進めるという町長の政治判断か。	町長 教育長	(2) 学校統廃合の決断は、地域衰退のリスクを考えた上での町長による極めて重い政治判断です。コミュニティの維持も認識しながら取り組むということは大変重要なことだと思っています。	企画財政課 教育課
			(3) アンケートを実施している。アンケート結果の統計学的に地域、保護者の意見を代表する数値であるか。そうであるならその根拠と文献等の提示を。	町長 教育長	(3) 実施したアンケート調査について、統計学的に条件を満たしたものではありません。参考資料として扱っております。	企画財政課 教育課
			(4) 総合計画に学校統合を位置づけることに、対象地域の合意形成は図られたと考えているか。	町長 教育長	(4) 文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」では、学校統廃合を進めるにあたって「丁寧な合意形成」を強く求めています。検討審議会や住民説明会を重ねることが、合意形成に必要なプロセスだと考えています。	企画財政課 教育課
			(5) 今後、個別計画段階で改めて町民の意向調査、住民合意を得る考えはあるか。あるなら具体的に提示を。 以上伺います。	町長 教育長	(5) 個別計画段階での改めての意向調査や、より具体的な住民合意の獲得プロセスは必要であると考えています。	企画財政課 教育課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 堆肥センターについて	(1) 過去5年間の堆肥生産量、販売量と金額、収支状況は	町長	(1) 本施設の運営体制につきましては、令和5年度から委託事業による運営へと移行しております。これらを踏まえた過去5年間の実績につきましては、令和3年から4年度は町の収支で、令和3年度生産販売量763トン、販売金額9,339千円、収入9,339千円、支出22,946千円となり13,607千円の赤字、令和4年度生産販売量771トン、販売金額11,443千円、収入11,443千円、支出26,070千円となり14,627千円の赤字となっております。 令和5年から7年度までは委託事業者の収支で、令和5年度生産販売量385トン、販売金額5,126千円、収入16,626千円、支出20,576千円となり3,950千円の赤字、令和6年度生産販売量415トン、販売金額5,841千円、収入17,341千円、支出20,561千円となり3,220千円の赤字、令和7年度生産販売量374トン、販売金額5,041千円、収入16,541千円、支出19,824千円となり3,283千円の赤字となっております。	産業振興課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(2) 昨年度までの委託先への委託料、生産量、販売量と金額の推移結果は。その結果をどのように評価しているか。以上伺います。	町長	(2) 令和5年度から7年度までの3か年における委託料は、年額11,500千円、計34,500千円となっております。この間の実績につきましては、生産販売量が370トンから410トン台、販売金額が5,000千円から5,800千円台の推移となっております。 今回の推移に対する評価といたしましては、令和5年度の台風被害に伴う供給不足以降、農家の堆肥利用離れを後年度において十分に回復させることができなかったこと、また、破碎機など設備の老朽化に伴う修繕に時間を要した点に大きな課題があるものと認識しております。 今後におきましては、島内農家への利用促進を改めて強化するとともに、需要の回復と安定的な供給体制の確立に向け、取り組んでまいります。	産業振興課
		3. 久米島町先導的官民連携事業(バーデハウス・パークゴルフ場)プロポーザルについて	(1) 公募要項で公募時と最優秀提案者と協定書締結後、当提案者の提案概要を公表するとしておりまた3月議会で公表公開するとの回答があった。公表公開したか。公表公開していないのであればその理由は。以上伺います。	町長		商工観光課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
11	宇江原総清	1. 鳥島射爆撃場と政治	アメリカがくしゃみをするると久米島が風邪をひくグローバルな世界。米中会談でアメリカのトランプは「台湾は遠く戦争に行けない」との内容を言った。以前にもアメリカのヘグセス国防長官は「台湾有事は日本が最前線に立つ」と言った。その後トランプは日本に対し「中国を刺激するな」と言った。中国の国連代表は「日本はプルトニウムを保持」と日本をけん制。カタールやサウジアラビアはアメリカに対し、イラン攻撃停止の要請をした。その真意は何か。日本の高市首相が「台湾有事は存在危機事態」と国会で答弁。私は高市が中国に対する宣戦布告だとみた。又、中国の国連代表が日本のプルトニウム発言をした事は原発や六ヶ所村の貯蔵庫とみなした。そのグローバルの中で、鳥島射爆撃場について伺う。			
			(1) 日中戦争になった場合の住民保護対策	町長	(1) 住民保護対策につきましては住民の生命、身体及び財産を保護する責務に鑑み、国民保護計画に基づき対応することとしております。	総務課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(2) 嘉手納基地弾薬庫にある劣化ウラン弾の処理は。私の情報では、在沖米軍人は一日でハワイ・グアムへ避難する事を想定している。	町長	(2) 劣化ウラン弾については、本町では詳細を把握しておりません。また避難行動については、国民保護計画に基づき、国・県および関係機関と連携し必要な措置を講じてまいります。	総務課
			(3) 本町はガンによる死者が多い。その対策のための疫学調査は	町長	(3) 疫学調査につきましては、国が実施した環境調査の結果を受けて、自然環境や住民の健康への影響がないと町及び町民に対して報告を行っており、町民の健康診断の結果並びに町民の死因の分析結果などを総合的に検討すると放射物質の影響はないものと考えます。	総務課
		2. 自然再生とコンクリート護岸の撤去について	宮古島市の観光客と人口の増加は目を見張るものがある。私の視察で海岸線は港湾以外にコンクリート護岸がほとんどなく、海浜植物が多い。そして海岸線で遊ぶ人たちが多く。又、海岸に沿ってカヌーの団体らしき人たちも多かった。東平安名崎は長い距離を老若男女が楽しく歩いていた。自然が気持ち良かった。本町も宮古島市の自然を見習ったらどうか伺う	町長	海岸保全につきましては、他自治体の事例を参考に、今後の海岸保全と自然再生のあり方について、関係機関とも意見交換を行い、検討を進めてまいります。	建設課 商工観光課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. 本町の人口減少と経済衰退対策は	本町はバーデハウス、風の森等の衰退や商業等加速的に減少している。これに伴っての人口減少がみられる。その原因と対策を伺う	町長	バーデハウスおよび風の帰る森施設については、施設の老朽化や指定管理の見直し等の事由により現在、休館となっております。 バーデハウスについては、官民連携による事業パートナーとの協議、風の帰る森については、臨時開館による利用検証を行いながら、再開に取り組んでいるところです。	企画財政課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
3	喜久里 猛	1. 所信表明から	(1) 農林水産業の活性化について ①農地の流動化は可能性はあるか ②農家の所得はどの位置にあるか。私の農業の定義は「子供達を大学まで行かせられるか」である。久米島の農家所得はどの位置で何万円か	町長	(1) ①農地の流動化につきましては、農地の有効活用と担い手への集積、流動化をさらに推進していく可能性、またその必要性は非常に高いと認識しております。 これまでの取り組みといたしましては、過去3年間で、農地中間管理事業により153筆・24.9ヘクタール、農地法第3条により339筆・36.7ヘクタールの農地流動化を図ってまいりました。 今後におきましても、農業委員会や関係機関と緊密に連携を図り、意欲ある担い手への農地集約・流動化に取り組んでまいります。 ②農家所得につきましては詳細なデータがありませんので、産業の概況より出荷額合計から農家戸数で除した令和6年度金額は約2,300千円となっております。また、県内のどの位置にあるのかについては、沖縄県が公表している「1人当たり市町村民所得」（令和4年度）では県内38位となっております。	産業振興課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(2) 医療・福祉について ①町民が一体となり誰一人取り残されないとするが、その中において生活保護者の受給条件の改善が必要ではないか。地域に合った政策が必要だと思う。例として、自家用車の所有、持ち家の所有等	町長	(2) 生活保護制度は、憲法第25条の理念に基づき、国が定める最低生活基準を保障し、自立を促すことを目的としております。ご指摘のありました受給条件の緩和につきましては、生活保護が法定受託事務であることから、本町が独自にその基準や条件を緩和することはできない制度となっております。しかしながら、制度の運用におきましては、地域の状況や個別の事情を考慮する規定もございますので、今後とも関係機関と連携を図り、町の実情に即したきめ細やかな対応と福祉の向上に努めてまいります。	福祉課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(3) 公共事業について ①道路新設については新設よりも改修が先ではないか、アスファルト舗装等、整備がまだ残っている。 ②山林保護・河川保護事業が必要ではないか	町長	(3) ①道路の新設と改修については、町民の意見も伺いながら、効果的かつ効率的な事業執行に努め、限られた財源の中で、町民の安全・安心な暮らしを守り、経済の発展に資する道路整備に取り組んでまいります。 ②山林保護については、一昔前まではたくさん見られた植物が、最近は見ることが少なくなってきた種がいくつかあります。その中には、昔から人々に馴染みのある植物であったり、生活や趣味目的で伐採が確認されています。産業や文化の継承のにつながる部分もあり、すべてを規制することは難しいですが、関係部署で連携して保護をしていく必要があると考えています。 河川保護については、施設の重要度と老朽化の度合いを総合的に評価し、優先順位を設定し計画的に対策を進めてまいります。	①建設課 ②博物館

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(4) 次世代産業の誘致について ①外国からの視察が多いようだが、久米島へのメリットがあるか。企業が進出しているか。予定はあるか	町長	(4) 近年、パラオをはじめとする太平洋島しょ国からの視察が増加しています。これらの国々は本町と同様に本土から離れた島しょ地域であり、規模の違いはあるものの、気候変動への対応やエネルギーの安定確保など共通の課題を抱えています。特に気候変動については、本町以上に切実な問題として捉えられていると感じています。 視察者の関心は、エネルギー・水・食料の自給を目指す「久米島モデル」にあります。各国の政府関係者や技術者が多く訪れており、このモデルが海外で展開されることで海洋温度差発電への関心が高まり、技術開発や研究の進展が本町の取組にも還元されることを期待しています。 また、久米島モデルへの関心の高まりを背景に、海外市場を視野に入れたサーモン養殖事業の本格進出が決定しているほか、ウニ養殖事業者から養殖場設置の相談も寄せられています。さらに、大学等の研究機関からGX拠点となる国際共同研究施設の立地についても相談を受けており、新たな産業振興や研究開発の展開が期待されています。	プロジェクト推進課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
10	新垣幸子	1. 公共工事の発注について	現在の当町の公共工事発注状況について、町民の方からお問い合わせがあったことやいくつか確認したく4点伺います。			
			(1) 業者のランク制度の詳細及び決定方法。	町長	(1) 業者のランク制度につきましては、久米島町建設工事等競争入札参加者資格及び指名基準等に関する規定に基づき決定しており請負工事金額に応じて、JV方式、特A級からD級および等級外に区分されております。	総務課
			(2) 工事規模別の参加制限におけるランクごとの参加可能工事規模（金額）、代表的な工事種類、年間受注可能額（目安）及び登録業者数。	町長	(2) ランク別の請負工事金額は、下記のとおりとなります。 JV方式 3億円以上 特A及びJV方式 1億5,000万円以上3億円未満 A級 4,000万円以上1億5,000万円未満 B級 2,500万円以上4,000万円未満 C級 1,000万円以上2,500万円未満 D級 500万円以上1,000万円未満 等級外 500万円未満 登録業者数につきましては、特AはなくA級は7社、B級3社、C級2社、D級2社となっております。	総務課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(3) 工事種類別及びランクごとの過去3年間の発注件数と金額。	町長	(3) 工事種類別及びランクごとの過去3年間の発注件数と金額につきましては、下記のとおりとなります。 令和5年度 土木A 発注件数7件 金額372,375千円 土木B 発注件数7件 金額212,520千円 土木C 発注件数4件 金額55,858千円 土木D 発注件数3件 金額9,686千円 解体 発注件数1件 金額13,178千円 建築A 発注件数1件 金額54,780千円 建築C 発注件数1件 金額15,730千円 電気A 発注件数1件 金額38,390千円 電気B 発注件数1件 金額24,200千円	総務課

令和 8 年第 6 回 6 月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
					令和 6 年度 土木 A 発注件数 5 件 金額 416,460 千円 土木 B 発注件数 7 件 金額 200,530 千円 土木 C 発注件数 2 件 金額 48,070 千円 土木 D 発注件数 2 件 金額 12,496 千円 建築 B 発注件数 2 件 金額 154,990 千円 電気 A 発注件数 1 件 金額 63,360 千円 管 B 発注件数 1 件 金額 65,780 千円 令和 7 年度 土木 A 発注件数 10 件 金額 581,030 千円 土木 B 発注件数 3 件 金額 98,230 千円 土木 C 発注件数 3 件 金額 41,610 千円 土木 D 発注件数 1 件 金額 6,116 千円 管 D 発注件数 1 件 金額 5,342 千円	

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(4) 年間を通して、ランクごとに継続的な受注機会を配分する仕組み作りが重要だと考えますが、ご見解を伺います。	町長	本町における工事等の発注状況については、入札参加資格に基づく等級区分や工事内容、施工能力、技術者配置状況等を踏まえ、公平性・競争性・透明性の確保に努めながら実施しております。 また、地元建設業者が道路維持、災害対応、公共施設修繕など地域インフラを支える重要な役割を担っていること、安定的な経営基盤の確保や技術力維持は、地域防災力の観点からも重要であると認識しております。今後においても国・県等の財源を活用しながら地域建設業の育成と公共工事の適正執行の両立を図りながら、継続的かつ計画的な発注に努めてまいります。	総務課
		2. 島のウガンジュ（御願所）やウタキ（御嶽）の草刈りと清掃について	ウガンジュ（御願所）やウタキ（御嶽）は、沖縄の人々にとって心のよりどころであり神聖な場所です。集落や自然の中に数多く存在しています。2点伺います。			

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(1) 集落内・集落外清掃の際、各地区で草刈りと清掃を行っている地区(字)は、何か所あるか伺う。	教育長	(1) 30字の区長に確認したところ、24か所が清掃を行っているとの回答が得られました。	博物館
			(2) 集落から離れた箇所の観光地内にあるウガンジュ(御願所)などの草刈りと清掃について、行政での対応を要望したいが、ご見解を伺う。	教育長	(2) ウガンジュについては、さまざまな形態があり、定義が難しいものです。また、個人の土地であったり、祭祀の時期も集落で決まっている場合があります。集落から離れた場所のウガンジュに関しましても、これまでと同様に、集落のほうで対応をしていただきたいと思います。	博物館
		3. 32地区の「しまくとうば辞典」の発刊について	若い方や子どもたちが、しまくとうばをあまり使わなくなりました。方言(しまくとうば)が消えていかないように今こそ行政が中心となって地域の方や子どもたちと協力し合い調査し、32地区の「しまくとうば辞典」の発刊が可能であるか、伺います。	教育長	しまくとうばについては、各字で取り組んでいるところもあると聞いています。本町の取り組みとしましては、久米島町史自然編において、動植物の方言名を中心に各字を回って聞き取り調査を行い、集落ごとにまとめているところです。	博物館

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
2	富永肇	1. 所信表明について	町長の所信表明にて6本の基本政策が出され、強い決意を持って取り組むとあります。 (1) 一期目の基本政策と二期目の基本政策は、ほぼ同様ですが、一期目の総合的な評価と二期目の政策への主な課題はあるか伺う。	町長	(1) 一期目における私の総合的評価につきましては、有識者による外部評価ならびに、住民アンケートの結果からの所感になりますが、外部評価においては、「生まれる」「育つ」「学ぶ」「老いる」「島を訪れる」世代への施策については、一定の評価がなされた一方で、「働く」「暮らす」「次世代」への施策については、事業の拡充や更なる取り組みの強化を求められる結果でした。 また、住民アンケートについては、「島への愛着・誇り」「島ぐらしの幸福度」において、約8割から9割の肯定的な回答が得られたものの、「世帯家計の状況」において、約4割が「厳しい状況」との回答で、「島での生活に関する満足度」としましては、27項目のうち8項目が「満足・ほぼ満足」、19項目が「やや不満・不満」との結果でした。外部評価やアンケート結果における未達事項については、更なる取り組みが求められている課題だと認識しております。 本町の最重要課題は人口減少であり、その対策に全力でとりくんでまいります。	企画財政課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(2) 教育の充実について、学校規模の適正化、適正配置に取り組むとありますが、見解を伺う。	教育長	(2) 学校規模の適正化や適正配置の取り組みは、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましいものと考えられています。 現在、本町では複式学級の増加や、新入学生がゼロといった現状も見受けられることから、長期的な視点も踏まえ継続して取り組んでいく必要があると考えております。	教育課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(3) 認定こども園の実現とありますが、実現は可能か？	町長	(3) 「久米島町立学校等適正規模・適正配置に関する基本方針（案）」についての諮問に対する答申」においても、町立幼稚園について、幼児教育の充実と子育て支援の強化を図る観点から、「認定こども園」への移行を目指すと考えました。 答申にもありましたとおり、保育年数等について、保育園も含め、本町の実情や諸問題を十分に考慮する必要があります。本町の就学前教育・保育のあり方についての方針を取りまとめ、本町により適した認定こども園の実現に向けて取り組んでまいります。	こども未来課
			(4) ①イーフ地区複合型避難ビルの整備	町長	(4) ①イーフ地区につきましては、海拔が低く高台への避難に時間を要することから避難タワーの整備が重要だと考えます。複合型の施設を整備することで、イーフ地区の地域性に即した施設整備を推進できればと考えております。	①総務課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			②新興通り商店街活性化支援	町長	②新興通り活性化については、通りの一方通行、電柱の地中化に取り組んでいくとともに、町民や来島者が新興通りに足を運んで頂くには、どのような通りが望ましいのかを新興通り会や関係機関と連携して活性化に繋げて参ります。	②商工観光課
			③沖縄県への国立自然史博物の誘致への取り組みとありますが具体的に伺います。	教育長	③沖縄県の国立自然史博物館誘致の構想として、サテライト館を県内数か所に設置する構想があります。 サテライト館を本町に誘致するメリットや、久米島の自然環境の独自性や貴重性を住民説明会等で周知啓発を行っていき、機運を高め、町民全体で誘致を目指します。沖縄県に対しても本町の自然環境、立地の良さをPRしていきたいと思っています。 本町としましては、県への誘致が決まるように共に誘致活動を行い、並行して情報共有しながら、協力体制をとり、町への誘致活動を行ってまいります。	③博物館

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			(5) 官民連携による事業パートナー協定について、本町の事業パートナー対象施設、バーデハウス久米島、久米島シーサイドパークゴルフ場、旧久米島中学校、泊フィッシャリーナの状況を伺う。その他、施設の事業パートナーはあるか伺う	町長	(5) バーデハウス久米島については、基礎調査をいれ再生に向けた方向性を整理いたしました。 ・旧久米島中学校及びシーサイドパークゴルフについては、今年度基本構想を策定し、既存施設の有効活用を図って参ります。 ・泊フィッシャリーナについては4月に事業パートナーと連携協定を締結いたしました。事業パートナーの専門的知見を生かして、泊フィッシャリーナにおける利用者の利便性向上及び安全管理体制の構築などの協議を重ね、持続可能な管理運営及び観光振興や地域活性化を図ってまいります。 ・現時点において、その他施設の事業パートナーはございません。	商工観光課
		2. 地域行政懇談会について	地域行政懇談会は行政の方針や課題について町民と意見交換し行政運営に反映させ町民と町の協働のまちづくりができる。見解と今後の開催予定はあるか伺う。	町長	地域行政懇談会につきましては、町民の皆様のご意見を拝聴できる大変貴重な機会であると認識しております。今後開催に向けて調整してまいります。	総務課

令和8年第6回6月定例会一般質問通告一覧表

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
1	棚原 哲也	1. 保安・防犯目的の監視カメラの設置について	町内で多くの人が集う公園や夏期の間のビーチの入口、又児童・生徒が多く活用している通学路等に設置必要な箇所があると思われる。町として今後設置の計画があるか伺う。	町長	保安・防犯目的の監視カメラ設置につきましては、近年、全国的に子どもの安全確保や犯罪抑止、事故発生時の状況確認などを目的として導入が進められております。本町におきましては、現時点で公共施設等への防犯カメラ設置実績や具体的な整備計画はございませんが、近年の社会情勢や県内自治体の動向を踏まえ、今後、通学路や公園、観光施設等を含めた施設につきまして関係部署と連携し、まずは条件整備を進めてまいります。	総務課
		2. 町営バスの路線について	バス路線・島尻線について営業所発、仲里庁舎、比嘉、真我里・銭田・島尻として沖縄総合事務局陸運事務所に登録しているが、泊・謝名堂地域を除いて登録しているのはなぜか。又、謝名堂川沿いの謝名堂5号線を路線に組み入れているのなぜか。その理由を伺う。	町長	営業所から県道へ接続する際の最短ルートとして、謝名堂5号線を島尻線の経路としています。	商工観光課